

令和4年度 幼児教育推進体制を活用した地域の 幼児教育の質向上強化事業

有識者会議



令和5年2月22日(水)
聖籠町幼児教育センター

令和4年度から新しい子育てシステムへ移行

聖籠町では、平成17年度から、0歳から2歳までを保育園で、3歳児から5歳児までの全幼児を町立こども園（幼稚園）で教育に重点を置いて保育するシステムをとってきました。

しかし、近年就労環境の変化、核家族化、女性の社会進出等の社会状況の変化並びに国の幼保無償化政策等により、保護者の保育園、幼稚園に対するニーズが大きく変化し、**令和4年度から新しいシステムによる保育・幼児教育に移行しました。**



令和4年度から

◎3～5歳児を受け入れていた3つの町立こども園を、3月末に閉園

⇒**唯一の町立として『せいらう幼稚園』が開園**

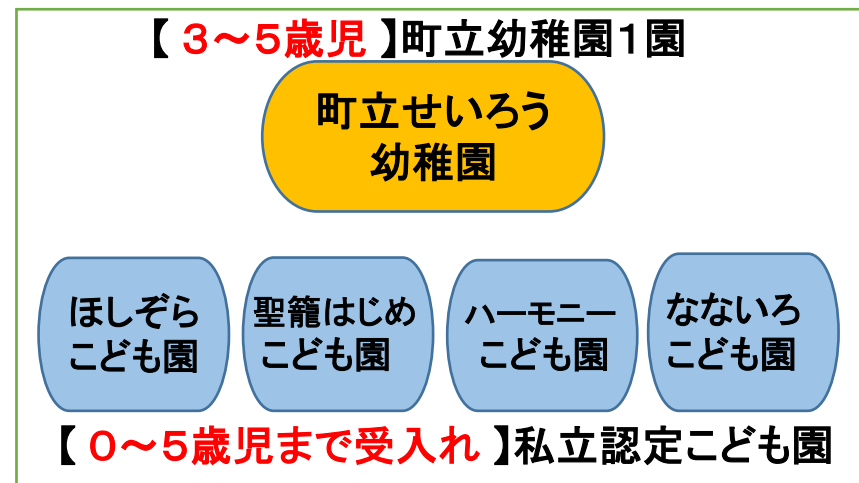
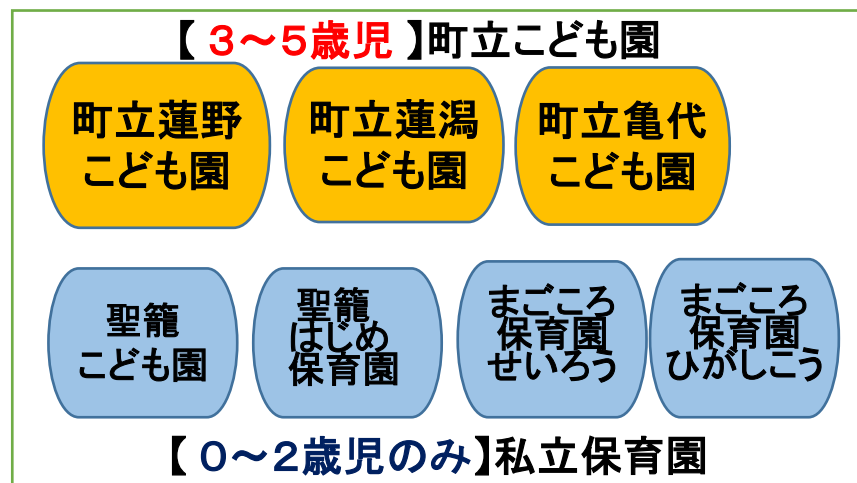
◎0～2歳児を受け入れていた4つの私立保育園

⇒**0～5歳児までを受け入れる私立認定こども園となる。**

※町立の教諭の一部は、私立認定こども園へ幼児部の教育を担うために、派遣配置。

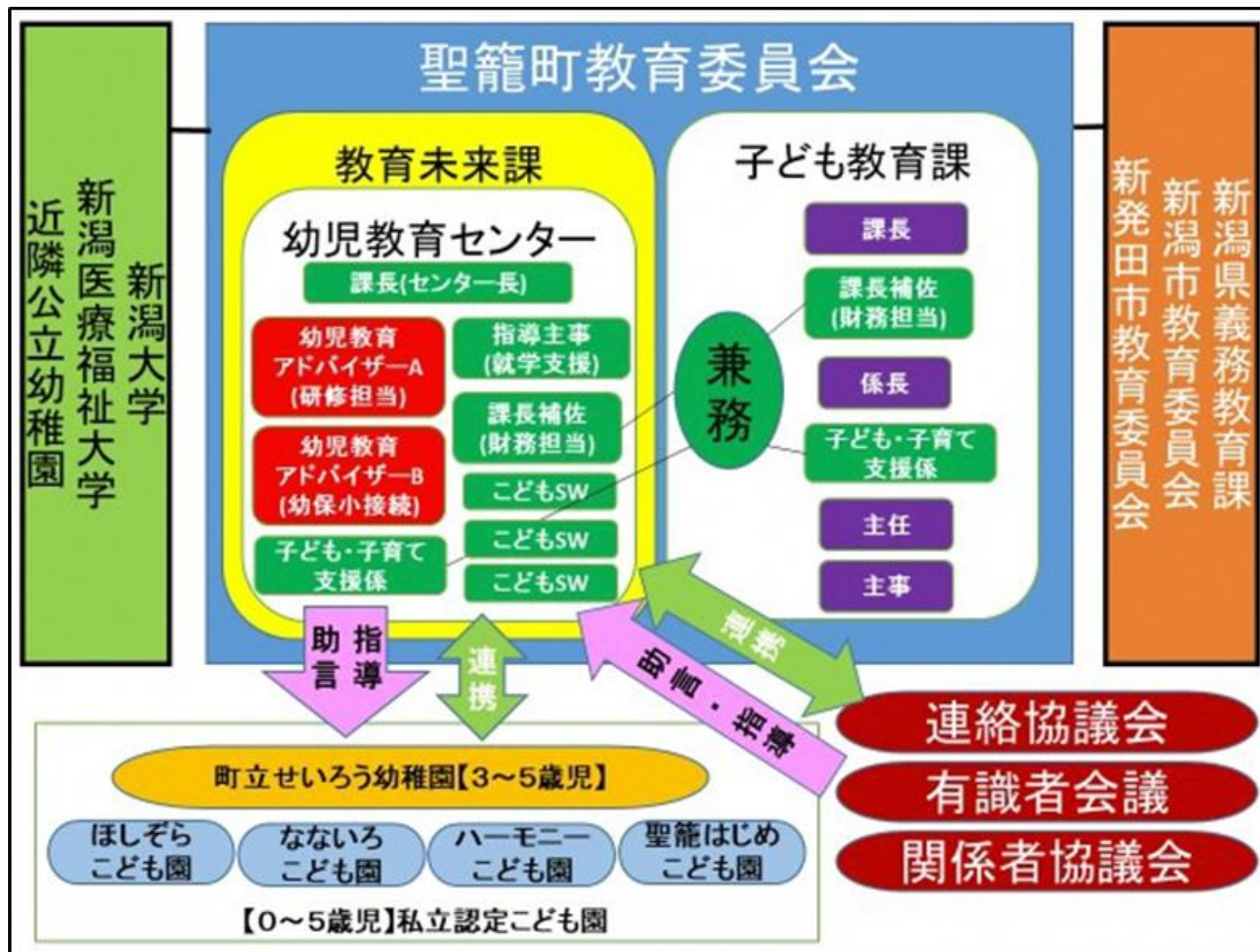
令和4年度から新しい子育てシステムへ移行

令和4年度から



新システムの移行に向けて、町内すべての3～5歳児に対して等しく質の高い教育を継続的に提供できるよう、令和2年度から文科省交付金を活用して「幼児教育体制の充実・活用強化事業」に取り組み、「聖籠町人口ビジョン2020 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和6年度）」に位置付けた「**子どもの興味・関心を刺激し、可能性を育む幼児教育の推進**」を加速させ、**幼児教育の質の向上と充実**に努めてきました。

令和4年度 幼児教育センターの構成



4月から新しい子育てシステムに移行し、3～5歳児の幼児教育を、町立幼稚園1園、私立認定こども園4園で行っています。そのため、聖籠町全体の幼児教育の充実と、幼小の一層の接続・連携に向けて、次の(1)～(5)の活動に取り組んできました。

(1) 幼児教育の質と指導力向上

- ①「町立園・私立園」合同研修会の実施(4回)
- ②「町立園・私立園・小学校合同」研修会の実施(4回)
- ③定期的な園訪問と助言
 - 町立幼稚園(週1回)計41回
 - 私立4園(月1回) 計44回
 - ➡保育参観, 派遣職員・園長先生との情報交換

(2) 複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

①関係者協議会開催(5・8・9・11・2・3月)

- ・スタートカリキュラム, アプローチカリキュラムの
共通理解と検討
- ・複数園と小学校の連携・接続方法の構築
- ・町立園と私立園の情報交換

②幼小の互いの教育について理解を図る

- ・町立園・私立園教諭による新一年生の授業参観
- ・町立園・私立園・小学校合同の研究保育協議会
- ・小学校教諭による5歳児の保育参観

(3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

- ①令和3年度に作成した「**聖籠町幼児教育リーフレット**」を
町内各園の3～5歳児の全家庭に配布。
広報せいらうやホームページにも掲載。
- ②町立せいらう幼稚園で毎週ALTと英語活動を行う。
 **せいらう幼稚園の特色として、英語活動の様子を
毎週まとめ、ホームページに掲載。**
- ③広報せいらうと町のホームページに幼児教育の取り組みを掲載。

(4) せいろう幼稚園の遊びについて「実践集録」作成

- ①せいろう幼稚園の砂遊び・ごっこ遊びについて、
研究保育協議会の実践をもとにまとめる。

 聖籠町の町立・私立園教諭及び小学校に配布

(5) 幼児教育アドバイザーの質の向上

- ①有識者会議開催(2月)
- ②連絡協議会開催(8・11・2月)
- ③新潟大学附属幼稚園研究会参加
(4月・12月Zoom参加)
- ④沖縄県金武町幼児教育センターからの視察と
情報交換(7月14日)

令和4年度の諸会議の開催

- 幼児教育体制の充実・活用強化事業を推進するにあたり、「連絡協議会」「有識者会議」「関係者協議会」を開催します。

会 議	目 的 と 構 成
連絡協議会 (年3回)	■ 幼児教育アドバイザーの質の向上 ● 大学関係者、県教委指導主事、新潟市教委指導主事、園長、事務局等で構成
有識者会議 (年1回)	■ 幼児教育推進活用事業についての進捗状況及び成果と課題の共有、助言 ・ 幼稚園教諭、保育士の指導力向上 ・ 町立の幼稚園・民間の認定こども園と小学校との接続 ・ 幼児教育の積極的な発信 ● 大学関係者、県教委指導主事、近隣市教委指導主事、保護者代表、幼稚園長代表、保育園長代表、小学校長代表、事務局等で構成
関係者協議会 (年6回)	■ 町立幼稚園・私立認定こども園と小学校との連携・接続 ・ 園と小学校との円滑な連携・接続について協議 ・ 幼小接続期カリキュラム(アプローチ・スタート)の編成と実効性の評価 ● 幼稚園長、保育園長、小学校長、事務局で構成

令和4年度に実施する諸会議の構成(敬称略)

連絡協議会

- | | | | |
|---|----------------------|-------|-------|
| ① | 新潟大学教育実践学研究科教授 | 中島伸子 | |
| ② | 県教育庁下越教育事務所指導主事 | 小池満喜子 | |
| ③ | 新潟市教育委員会指導主事 | 清野佳子 | |
| ④ | 聖籠町立せいろう幼稚園長 | 西村美紀 | |
| ⑤ | 聖籠町幼児教育センター長（教育未来課長） | 須貝克徳 | 〈事務局〉 |
| ⑤ | 聖籠町幼児教育アドバイザー（指導主事） | 阿部香 | 〈事務局〉 |
| ⑥ | 聖籠町幼児教育アドバイザー | 鈴木裕子 | 〈事務局〉 |

有識者会議

- | | | | |
|---|----------------------|------|-------|
| ① | 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科教授 | 脇野哲郎 | |
| ② | 県教育庁義務教育課指導主事 | 相田巧 | |
| ③ | 新発田市教育委員会指導主事 | 高久義之 | |
| ④ | 新発田市立外ヶ輪小学校長 | 井上正裕 | |
| ⑤ | 新潟市立有明台小学校長 | 白澤陽子 | |
| ⑥ | 新潟市立小須戸幼稚園長 | 阿部美子 | |
| ⑦ | 保護者代表 | 高橋真弓 | |
| ⑧ | 聖籠町教育長 | 近藤朗 | |
| ⑨ | 聖籠町幼児教育センター長（教育未来課長） | 須貝克徳 | 〈事務局〉 |
| ⑩ | 聖籠町幼児教育センター財務主任 | 天野秀一 | 〈事務局〉 |
| ⑪ | 聖籠町幼児教育センター相談主任 | 関川清美 | 〈事務局〉 |
| ⑫ | 聖籠町子ども・子育て支援係長 | 牧野恵 | 〈事務局〉 |
| ⑬ | 聖籠町幼児教育アドバイザー（指導主事） | 阿部香 | 〈事務局〉 |
| ⑭ | 聖籠町幼児教育アドバイザー | 鈴木裕子 | 〈事務局〉 |

令和4年度に実施する諸会議の構成(敬称略)

関係者協議会

- ① 聖籠町立せいろう幼稚園長・・・・・・・・・・西村美紀
- ② 社会福祉法人真心福祉会 ハーモニーこども園長・・・・高橋智恵子
- ③ 社会福祉法人真心福祉会 ほしぞらこども園長・・・・渡邊文江
- ④ 社会福祉法人真心福祉会 なないろこども園長・・・・本間千賀子
- ⑤ 社会福祉法人親永会 聖籠はじめ保育園長・・・・・・・・三國薫
- ⑥ 聖籠町立蓮野小学校長・・・・・・・・・・六井和幸
- ⑦ 聖籠町立山倉小学校長・・・・・・・・・・若狭陽一
- ⑧ 聖籠町立亀代小学校長・・・・・・・・・・伊藤健文
- ⑨ 聖籠町幼児教育センター長（教育未来課長）・・・・須貝克徳　＜事務局＞
- ⑩ 聖籠町幼児教育センター財務主任・・・・・・・・天野秀一　＜事務局＞
- ⑪ 聖籠町幼児教育センター相談主任・・・・・・・・関川清美　＜事務局＞
- ⑫ 聖籠町教育未来課 指導主事・・・・・・・・戸川しげ子＜事務局＞
- ⑬ 聖籠町子ども教育課 子ども・子育て支援係長・・・・牧野恵　＜事務局＞
- ⑭ 聖籠町幼児教育アドバイザー（指導主事）・・・・阿部香　＜事務局＞
- ⑮ 聖籠町幼児教育アドバイザー・・・・鈴木裕子　＜事務局＞

令和4年度の取組 (1)幼児教育の質と指導力の向上

令和4年度 町立園・私立園・小学校合同研修

町立園・私立園教諭による 新一年生の授業参観

○3つの小学校で新一年生の授業を公開。
園の教諭が、スタートカリキュラムの様子を
参観し、幼小接続の在り方を学ぶ。

- ・令和4年 4月18日(月) 亀代小学校
- ・令和4年 4月21日(木) 山倉小学校
- ・令和4年 4月25日(月) 蓮野小学校

町立園・私立園・小学校合同 研究保育協議会 (3回)

3・4・5歳児研修指導者
新潟大学 教授 中島伸子様

5歳児研修指導者
下越教育事務所
指導主事 小池満喜子様

○町立せいろう幼稚園で研究保育協議会開催。
私立園教諭、小学校の管理職・一年生担任・
特別支援担任も参加。

- ・令和4年 6月 7日(火) 5歳児研究保育
- ・令和4年 6月30日(木) 3歳児研究保育
- ・令和4年10月13日(木) 4歳児研究保育

令和4年度の取組 (1)幼児教育の質と指導力の向上

令和4年度 町立園・私立園合同研修

町立園・私立園合同 園長・副園長・ミドル リーダー研修（1回） 講師：新潟市立沼垂幼稚園 園長 青木博子様	○管理職研修 「幼児教育と小学校教育の連携と接続について」 ・令和4年6月8日(水)
町立園・私立園合同 指導力向上研修（1回） 講師：新潟大学 教授 中島伸子様	○指導力向上全員研修 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿から みた子どもの心の発達」 ・令和4年8月24日(水)
町立園・私立園合同 リトミック実技研修会 （2回） 講師：リトミック研究センター 間島賀子様	○「音楽を通して子どもたちの表現力や想像力を 高めるリトミックの指導」 ・令和4年 7月20日(水) ・令和4年10月24日(月)

令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

町立園・私立園合同「新一年生の授業参観」

園教諭が3つの小学校の新一年生の授業を参観し、スタートカリキュラム実践の様子や今後の幼小接続の在り方について学びました。



参加者の感想より

小学校は学習が中心になるため、授業の中で聞き方や姿勢について指導することが多くなると思うが、こども園の時は生活の中で話の聞き方や姿勢に重点を置いて指導しているので、指導したことがうまくつながるといいと思います。挨拶をする時の姿勢などは園での話を聞く姿勢にもつながっていた。呼ばれたら返事、担任の話が終わってから行動など、園での基盤が出来ていることで安心して学校生活を送れると感じた。

令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

町立園・私立園・**小学校**合同「5歳児研究保育協議会」

5歳児の砂遊びについて、視点に沿って数日間撮影した動画を視聴し、

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」がみられたところ

○小学校にどうつながっていくか

について話し合いました。



5歳児の砂遊びの動画をもとに、教師の援助と子どもたちの様子を説明



遊びの様子から、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が見られたところと、小学校へのつながりを話し合う

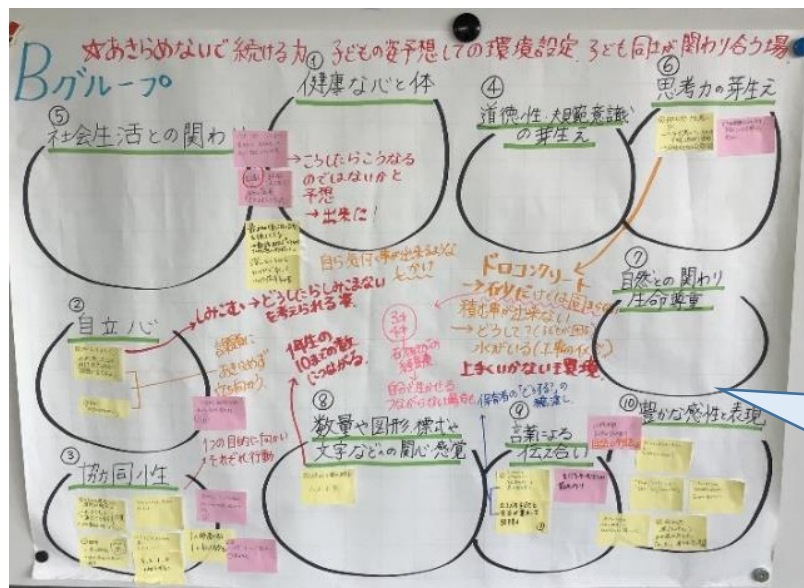
令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

町立園・私立園・**小学校**合同「5歳児研究保育協議会」

話し合われたことを
発表し合い
意見を共有



中島教授から、「幼小接続の大切さ」
「5歳児の姿から見た学び」についてご指導



遊びの姿に見られる学びを「10の姿」
からとらえ、それが小学校にどのよう
につながるかをまとめました。

「5歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

遊びの姿から「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が見られたところ（一部抜粋）

砂場にバケツで水を入れても、すぐに水がしみ込んでしまう
水が流れるようにしたい！

思考力の
芽生え
タイヤで
一気に
水を入れて
みよう。



協同性
「せーの！」
で入れるよ。

思考力の芽生え
ブルーシートを
引っ張って敷く
とうまく流れる
かな！



思考力の芽生え
水が横に流れない
ように壁を作ろう！

令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

「5歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

協議会で話し合われた「10の姿」と小学校へのつながり(一部抜粋)

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	5歳児の砂遊びに見られた「10の姿」につながるところ	小学校のどこにつながっていくか
自立心	○砂に水がしみ込み、流れなくても、あきらめずに立ち向かう。	○小さな困難でも、最後まであきらめずにやり遂げようとする。
協同性	○数日間かけて、協力して一つの川をつくりあげる。 ○川に水を流すという目的に向かい、水を汲む子、道を付ける子と分業。 大きなタライは友達と力を合わせて運ぶ。	○ペアやチームで話し合い。 ○イベントや学校行事に向けて学級での話し合い。 ○友達と、グループ活動や掃除などを協力して行う。
思考力の芽生え	○繰り返し試してみる。 もっと水を流すには大きなバケツが必要 →まだ浸み込んでしまう→ブルーシートを敷こう。 ○流れをせき止める土手をつくろう。 砂だけでは固まらない→水がいる。	○なぜ・どうしてと考える力。 ○考えを伝え合い、自分の考えをより深める。 ○生活科・総合的な学習で自分の考えを表現する。
自然との関わり・生命尊重	○砂や水の特性を活かした、本物の体験。	○生活科や理科の自然のしくみへの興味関心。
言葉による伝え合い	○子どものアイディアを担当が橋渡しして引き出す。周りの子も聞いている。 ○「どうしたら水が流れるかな」「シートを引っ張って敷けばいい」と、思いの伝え合い。	○自分の気持ちや考えを表現しようとする力。 ○友達や先生との関係づくり。 ○国語の物語などで心情理解・気持ちの読み取り。
豊かな感性と表現	○足で感じる水や泥の感覚を味わう。 ○「白い砂」を固めて「泥コンクリート」 ○「海だ！海！」	○イメージする力。 ○体験して楽しかった思いを絵や歌や作文で表現。
道徳性・規範意識の芽生え	○友達に水がかからないように、周りを気に掛ける。 ○水がかかったときに「やめて」「ごめんね」	○相手を思いやった行動。
数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	○砂山や水の流れの数のカウント。 ○水の量の比較。	○数や量の概念。
健康な心と体	○裸足で遊ぶ。	○体づくり運動。

町立園・私立園・**小学校**合同「**3歳児**研究保育協議会」

3歳児の砂遊びについて、視点に沿って数日間撮影した動画を視聴し、

○「3歳児が何を学んでいるか」

○「その学びを支えるために教師が大事にしていること」

○「10の姿のどこにつながっているか」

について話し合い、新潟大学中島教授よりご指導いただきました。

3歳児の「学び」と「10の姿へのつながり」(協議内容より)

自然とのかかわり

砂と水の性質に親しんでいる。乾いた砂と濡れた砂の違いや、混ぜる水の量による砂の感触の違いを楽しみ、確かめていた。



令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

「3歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

3歳児の「学び」と「10の姿へのつながり」（協議内容より）

豊かな感性と表現

泥団子に水を掛けて崩れる様子に
「アイス！」



水に実を入れてつぶして色水づくり。
「きれー」
「なんかシュワシュワみたい」



道徳性・規範意識の芽生え

使った道具は自分たちで洗い、
表示を見ながら分別して片付け。



「これ、わたしのだから、やめて！」と嫌なことははっきりと伝えるが、数秒後には「うふふ」と気持ちの切り替え。

「3歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

3歳児の「学び」と「10の姿へのつながり」（協議内容より）

思考力の芽生え

水の量で固さが変わることに気づき、硬さは手の感触で調整。

どうやったら効率よく砂を入れられるか、スプーンの他に茶碗も使って試していた。



「むらさき色だ！」と言っていた色水を、スプーンですくうと白く見えることに気づき、「すくってると、こんな白の色になる！」と先生に報告。



「3歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

教師が大事にしていること（協議内容より）



満足できるように見守る

自分なりにじっくり取り組んでいる時は、そばで見守る。（大人の言葉に子どもは影響される）

やってみたいという気持ちを大切に、誰にもじゃまされずにじっくりと試すことができる環境作り。



一緒に感動し、認め共感する

喜びに共感する。認める言葉や子どもの気持ちを高める言葉掛けで自信をもたせる。

失敗しても、もっとやってみようという気持ちにつながる。

良い距離感と立ち位置＝小学校でも大事

安心感と信頼関係＝すべての土台

「3歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

教師が大事にしていること（協議内容より）



イメージを膨らませる言葉掛け

子どもの気づきを反復したり、言い換えたり、問いかけたり、思いを引き出す言葉掛け。

身近なものに見立てて、イメージしやすい言葉掛け。「ガリガリ、ガリガリ、ブルドーザー!」等

見立てる = イメージの共有



子ども自ら活動できる環境設定

自分たちで必要なものを選んで使ったり、分別して片付けたりすることができる環境の工夫。視覚支援と場所の固定。

中身が見やすいように意図して色つきから白いカップに変え、子どもの気づきや感動を高める。

視覚支援 = 小学校低学年や特別支援でも大事

令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

町立園・私立園・**小学校**合同「4歳児研究保育協議会」

4歳児のごっこ遊びについて、視点に沿って数日間撮影した動画を視聴し、

- ①「教師のかかわり」
- ②「環境構成」
- ③「子どもたちの姿は、10の姿のどこにつながっているか」

について話し合い、新潟大学の中島教授と、下越教育事務所の小池指導主事よりご指導をいただきました。

教師のかかわり（協議内容より）

イメージの橋渡し

○教師の具体的な言葉で同じイメージに近づく。

- ・イメージを膨らませる言葉掛け
「ねこのえさって、どういうエサ？」
- ・なりきりの楽しさをアップする呼び掛け
「〇〇ねこ」

教師と子どものかかわりを
周囲の子どもが見ていて
「やってみたい！」
「楽しそう！」
「楽しい！」
と繰り返し楽しむ姿に

令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

「4歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

教師のかかわり（協議内容より）

子どもの思いや言葉をつなぐ

- 子ども達の言葉を拾い、それぞれの思いを教師が橋渡しして伝える。
- タイミングを逃さない仲立ち
「ねこちゃん、〇〇しに来たんだって」
「〇〇したいんだって」



C: (一周) 終わったらニャーって言ってね。

ガソリンの給油



令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

「4歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

環境構成（協議内容より）

なりきって、すぐに遊び出せる環境

○ねこのお面など子どもがなりきれる物

周りの子からもなりきっていることが分かり、
関わる姿につながる

○子どもから出たアイデアの実現

ねこじゃらし、ボールなど

自分の好きな物になり
きることで、表現
を楽しみ、友達とか
かわるきっかけに。

ねこのお面をつけ、なりきって
巧技台を四つん這いで



「あっ、ねこちゃん！」



「ねこちゃーん！かわいい」



ねこと追い掛けっこ



ねこじゃらしでかかわって



一緒にお散歩



令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

「4歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

環境構成（協議内容より）

安心できる場の確保

○数人で寄り集まり、じっくり遊べる環境。

- ・拠点があることで、安心や心地よさへ。
- ・お互いの声が聞こえる距離感から、思いを出す姿に。



どんな遊びにも見立てられる道具

○個々がなりきって動きを繰り返し楽しめる環境
設定と教師の声掛け。

- ・巧技台を山に、ゴムひもを川に見立てる。
- ・「忍者は川の下をくぐれるんだね！」



令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園・小学校合同研修の実施

「4歳児研究保育協議会」で話し合われたこと

主な10の姿へのつながり（協議内容より）

健康な心と体

ねこのように動いたりダンボールの車で競争したり、やりたい遊びを楽しむ。

社会生活とのかかわり

ガソリンスタンドに見立てて、給油や修理をする。

道徳性・規範意識の芽生え

車を順番に交代して使う。
巧技台を、順番を守って渡る。

協同性

車の運転・給油係・トンカチの修理と役割分担し、それぞれの役を楽しむ。

言葉による伝え合い

「(車で一周)終わったら、ニャーって言ってね」「ニャー！」

豊かな感性と表現

ねこや忍者になりきって、様々な動きや言葉（鳴き声）を楽しむ。

令和4年度の取組 (1)①町立園・私立園合同研修の実施

町立園・私立園合同「園長・副園長・ミドルリーダー研修」

小学校教諭・指導主事経験のある幼稚園長による管理職研修

講話『幼児教育と小学校教育の連携と接続について』



参加者の感想より

幼小連携をしていく中で、園での活動を小学校へも伝えていくことが必要だと感じた。そのためには、園で行っている活動の意図や育ちを園内で共通理解していくことが大切だと思った。保育を語る場や、「なぜ？」を聞き合いながら保育をしていけると良いと思う。

町立園・私立園合同「指導力向上研修会」

講師 新潟大学教育実践学研究科 中島伸子教授

テーマ『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』からみた子どもの心の発達
～「聖籠町 幼児期から小学校への接続へ向けて育てたい力」に注目して～



参加者の感想より

自己主張と自己抑制の話では、乳幼児の時にいかに信頼できる大人になり、自己主張を受け止めていくかが大切だと改めて感じました。また、子どもとの会話スタイルの相違が、子どもに影響するということが新たな学びでした。ほとんどの時間を園で過ごしている子が多いため、保護者も私たちも意識していくことで、「子どもたちの言葉で伝える力」を育んでいきたいと思います。

町立園・私立園合同「リトミック実技研修会」

「音楽を通して、子どもたちの表現力や想像力を高めるリトミックの指導」

講師から、リトミックの意義や効果的な指導方法を教わりました。



参加者の感想より

リトミックは、音楽に合わせてただ身体を動かすのではなく、聞いて、考えて、理解して動くことが大事だと分かった。ピアノの音の強弱・テンポ・拍・リズムを聞いて、自らの身体を動かす楽しさと難しさがある。子どもたちに楽しく取り組ませるには、指導者がよく理解して指導することが大切。

令和4年度の取組 (2)複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

関係者協議会を開催し、連携・接続を進める

月	参加者	議 題
5月	町立・私立園長	・指導計画の作成と幼児教育の推進 ・園の運営状況
8月	町立・私立園長	・園の運営状況, 課題と今後の改善 ・せいろ幼稚園のアプローチカリキュラムについて共通理解
9月	町立・私立園長 小学校長	・幼児教育センターの今年度の取組 ・R4のスタートカリキュラム実施の成果と課題について ・複数園と小学校の接続・連携方法検討
11月	町立・私立園長	・園の運営状況 ・新一年生の学級編成資料について検討
R5 2月	町立・私立園・ 小学校教諭	・新一年生の学級編成に向けて各園と小学校の情報交換会
3月	町立・私立園長 小学校長	・今年度の幼小連携・接続の成果と課題 ・来年度の幼小連携・接続方法確認 ・幼児教育センターの活動報告

スタートカリキュラムについての検討

○各校の令和4年度のスタートカリキュラムを持ち寄り、実施後の成果と課題について話し合った。園ではアプローチカリキュラム実施の、小学校は来年度のスタートカリキュラムの改善に活かしていく。

成 果

指導の有効性

- スタートカリキュラムがあることで、「遊びや体験→学習」という接続がスムーズにできた。
- 教科書の題材や単元ともリンクさせ、無理なく学習を進めることができた。
- スタートカリキュラムが1週間ごとに作成されており、「今週のスローガン(テーマ)」が明確になっていて、指導側もぶれずに指導することができた。
- 体を動かす活動(動)と、静かに話を聞く活動(静)をバランスよく取り入れることで活動にメリハリがつき、子どもが飽きないようにすることができた。
- 特に、「なかよしタイム」では、園での手遊び歌を多く取り入れた。子どもにも好評で、学校は楽しいところだと伝わった。

スタートカリキュラムについての検討

成 果

安心感へのつながり

- 学年便りでスタートカリキュラムについて掲載した。入学したてのスタートに不安をもっていた保護者から、学校の取組(学習)に対する理解が得られやすくなり、「安心した」という連絡をいただいた。
- 子どもたちの地域性や実態に合わせ、園からスムーズに小学校へ移行できるカリキュラムがあることは、保護者も子どもたちも安心して入学・学校生活を送ることができる。

蓄積と改良

- スタートカリキュラムを取り入れてから何年も経つので、写真など指導のための教材も蓄積されてきた。
- 毎年、年度末に反省・次年度への計画を立てることで、改良を重ねることができている。

スタートカリキュラムについての検討

課 題

- 令和5年4月からは、複数の幼稚園・こども園から1年生を迎えることになる。
子どもたちが新しい友達・新しい環境に早くなれ、安心して生活できるよう
「なかよしタイムの充実」が必要になると思われる。
- 今年度は、あまり問題がなかったが、スタートカリキュラム通りの一斉指導では、指導が入りにくい子ども(特別な支援を要する子ども)がいる。
それらの子どもに対する指導・支援をどのようにしていくのかをさらに詰める必要がある。
- 新しくタブレットが入ってきたため、基本的な操作指導をどのようにスタートカリキュラムに関連付けていくか。

各校で、成果と課題をもとに、令和5年度のスタートカリキュラムの作成に取り組んでいる。3月3日の関係者協議会で進捗状況を確認する。

令和4年度の取組 (2)複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

複数園と小学校との新たな連携方法

	令和3年度まで	令和4年度
園教諭による 新一年生授業 参観	一園一小で園教諭による授業参観と情報交換会の実施。	スタートカリキュラムの共通理解に向けて、3小学校で新一年生の授業公開を行い、園教諭が参観を行う。 ・参観者は、参観後振り返りカードを記入し、小学校に渡し学びを共有する。 ・園の旧担任が3小学校に必ず参加できるわけではないので、その場での情報交換会は実施せず、小学校は入学後気になる児童がいた場合は直接園や旧担任に問い合わせる。
就学時検診	担任が引率し、小学校で保護者に引き渡す。	保護者が、園に子どもを迎えに行く。
体験入学	担任が引率。	保護者説明会と体験入学を同時開催する。 保護者が園に迎えに行き、保護者は説明会、子どもは体験入学を行う。 ※ <u>2月8日に、町内全園・小学校で同日開催</u>

令和4年度の取組 (2)複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

複数園と小学校との新たな連携方法

	令和3年度まで	令和4年度
新一年生の学級編成に向けた出前授業・保育参観・情報交換会	小学校教師が園で出前授業と保育参観・情報交換会を行う。	○幼児教育センターが、町内園・小学校統一の「入学予定児童引継資料枠」を作成 ○新一年生の学級編成に向けて、各園の保育参観日を設定し、小学校が入学予定園児のいる園へ参観に行く。 ※「保育参観シート」をもとに、気になる園児だけではなく、園児の育ちや学びの様子も見取ってスタートカリキュラムに活かす。 ※2月9日に、役場で園・小合同「情報交換会」を行った。
就学相談を必要とする園児・保護者への対応	教育支援委員会の前に、小学校特別支援教育コーディネーター・子どもソーシャルワーカー・担当指導主事・保健師が、就学相談を必要とする園児のいる園を訪問し、行動観察と情報交換を行う。 ⇒令和4年から私立園でも実施。	

令和4年度の取組（2）複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

複数園と小学校による新たな「新一年生学級編成」手順

月	新一年生学級編成にかかわる手順
8月	・幼児教育センターで、統一した「入学予定児童引継枠」を作成
9月8日	・関係者協議会で、新一年生の学級編成について検討
12月1日	・各小学校⇒各園に「入学予定児童引継枠」を送付
R5 1月16日まで	・各園⇒各小学校に完成した「入学予定児童引継枠」を返送
1月 18・19・20・ 23・26日	・幼児教育センターで日程調整した各園の5歳児保育参観日に、小学校が参観に行く。 ※各園からは、事前に幼児教育リーフレットをもとに「保育参観シート」を作成してもらい、配慮を要する園児だけではなく、各園の5歳児の育ちや学びも見てもらいスタートカリキュラム作成の参考にする。
2月9日	・園教諭と小学校教諭が役場に集まり、ローテーションで情報交換を行う。
3月	・各小学校で、新一年生学級編成名簿決定

令和4年度の取組 (2) 複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

保育参観日の設定

○各園と小学校の日程調整をして保育参観日を設定。

○小学校は、自校に入学する園児がいるすべての園で保育参観を行った。

教務主任・特別支援コーディネーター・生活指導主任・1学年担任・養護教諭と、様々な立場から「入学予定児童引継資料」と「保育参観シート」をもとに園児の育ちや学びの様子を見取っていた。

保育公開日 (午後1時半～2時15分)	蓮野小学校	山倉小学校	亀代小学校
ほしぞらこども園 1月18日(水)		入学予定21人	入学予定2人
聖籠はじめこども園 1月19日(木)	入学予定14人	入学予定4人	
ハーモニーこども園 1月20日(金)			入学予定36人
せいらう幼稚園 1月23日(月)	入学予定4人	入学予定23人	入学予定12人
なないろこども園 1月26日(木)	入学予定23人	入学予定6人	入学予定3人



令和4年度の取組 (2) 複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

保育参観シートをもとにした参観

聖籠町幼児教育リーフレットで示す「幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力」をもとに、

○5歳児で特に力を入れていること
○現在の5歳児の育ちや学び

について各園が保育参観シートを作成し、園の保育を見取る視点にする。



幼児教育リーフレットを、園と小学校の相互理解とスタートカリキュラムの作成など円滑な接続につなげる。

保育参観シート

園名 せいろう幼稚園

○印は、5歳児で特に力を入れているところ

聖籠町 幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力	
生活する力	基礎的な生活習慣の確立 ○自分の身の回りのこと（着脱、食事、排泄など）を自分でできるようにする。 ○生活のルールや習慣を守ることができる。 ○生活の場面や状況に応じて適切な行動ができる。
かかわる力	自分の思いや気持ちを伝え、相手の思いを受け止めることができる。 ○自分の思いや気持ちを言葉で伝え、相手の思いを受け止めることができる。 ○自分の思いや気持ちを言葉で伝え、相手の思いを受け止めることができる。
学ぶ力	自分の興味・関心に基づいて学び、探究することができる。 ○自分の興味・関心に基づいて学び、探究することができる。 ○自分の興味・関心に基づいて学び、探究することができる。

○5歳児に力を入れて育てていること

- ・自分の思いを伝え、相手の思いを受け止めながら、目的に向かって一緒に活動する。
- ・遊びや活動の中で、自分のこととして受け止め、友達と相談しながら一緒に考え解決しようとする。
- ・出来ない事に諦めずに挑戦することで自信をもつ。
- ・担任の指示を聞き、自ら考え行動する。
- ・生活に見通しを持ち、指示がなくても自ら気付く、場にあった行動をする。

○現在の5歳児の育ちや学び（できているところと、まだ不十分なところ）

- ・疑問や問題が生じた時、今何を相談しなければならぬのかを個々が意識し、話し合いに参加できるようになった。また、他からの声を待つのではなく自分から声を出したり、チームの友達に「どう思う？」と声を掛けたりする姿が増え、相談の進め方が身に付いてきている。
- ・ほとんどの子が、遊びの中で同じ思いを持ち自分の思いを友達に伝えられるようになった。しかし、自分の思いをなかなか言えない子や自分の思いを通そうとしない子は、友達との折り合いがつかない姿も見られる。担任が寄り添いながら思いを伝えられるような配慮、また、相手の思いを受け入れ遊びや活動をスムーズに進められるような配慮が必要である。
- ・自ら興味を示し挑戦しようとする姿が見られる。また、出来ないことがあれば教師や友達からやり方を聞いて何度も挑戦しようとする。最初から、出来ないと言ってしまう子に対しての配慮が今後必要となる。
- ・話を聞く姿勢を自分で意識し、短い時間集中して話を聞く事ができるようになってきた。また、担任の話を聞いて見通しを持ち行動する姿も増えてきている。しかし、自信がなく教師に毎回同じ事を聞いてくる姿もある為、今後配慮が必要である。

令和4年度の取組 (2) 複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

新一年生学級編成に向けた「園・小合同情報交換会」の実施

入学予定者数に合わせてタイムテーブルを作成し、小学校と園で情報交換会を開催しました。

参加者：17名

- 小学校 教務主任・生活指導主任
特別支援学級主任・1学年主任
- 園 園長・副園長・5歳児担任

成果

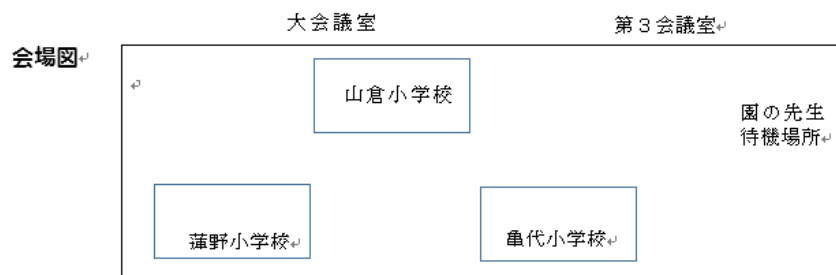
- ・時間が割り振られていたことで、要点を絞って情報交換ができた。
- ・いろいろな園から個々に、より詳しく話を聞くことができて良かった。
- ・移動もスムーズだった。

課題

- ・小学校の先生には、園からの事前情報をもとに聞きたいことなどを用意しておいてもらえると、伝える方はありがたい。
- ・時間の足りない園があった。

➡ 来年度改善を図る。

時間	蓮野小学校	山倉小学校	亀代小学校
15:00	せいらう幼稚園 (入学予定4人) 15:00~15:15	はじめこども園 (入学予定4人) 15:00~15:15	なないろこども園 (入学予定3人) 15:00~15:10
15:15	はじめこども園 (入学予定13人) 15:15~15:45	なないろこども園 (入学予定6人) 15:15~15:30	ほしぞらこども園 (入学予定2人) 15:10~15:20
15:30		ほしぞらこども園 (入学予定21人) 15:30~16:00	せいらう幼稚園 (入学予定12人) 15:20~15:50
15:45	なないろこども園 (入学予定23人) 15:45~16:30		
16:00		せいらう幼稚園 (入学予定23人) 16:00~16:30	ハーモニーこども園 (入学予定36人) 15:50~16:30
16:15			



令和4年度の取組（2）複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築

新一年生学級編成に向けた園・小合同「情報交換会」の実施



園が作成した「入学予定児童引継資料」と、小学校が「就学時検診・保育参観・体験入学」で見取った子どもの様子から情報交換を行った。

待ち時間のある園は、待機場所で同園または他園の教諭と情報交換を行っていた。来年度も、今年度の意見を活かしてより良い方法で実施する。

令和4年度の取組 (3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

① 聖籠町幼児教育リーフレットの周知・活用

令和3年度に作成した「聖籠町幼児教育リーフレット」を

○令和4年4月初め、町立せいろう幼稚園・私立認定こども園の開園に合わせて、3～5歳児の全家庭に配布。

○町立・私立各園の教室や玄関等に、リーフレット裏面「幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力」の拡大版を掲示し、常に意識した指導を行っている。

○広報せいろう6月号にリーフレットについて掲載し、ホームページにもアップし、広く周知を進めた。



町内の園と保護者で、目指す姿を共有しながら教育を進めている。

幼児教育リーフレット表面

小 学校では、園での成長を踏まえた
学習活動や環境づくりを行っています
幼児期の学びを小学校につなぐスタートカリキュラム

例 学校探検 (生活科を中心とした学習活動)



学校探検に出発！
たくさんの部屋が
あるぞ！

ミッションクリア！
校長室でいろいろお
話を発見!!

4月の入門期は、園での学びや育ちを生かしてスタートします
子どもたちが見つけたことや、もっとやって
みたいことを取り上げて学習を展開します。
また、園で経験してきた自分の思いを伝える
活動を大切にしています。



園 では、遊びや活動を通して「生活する力」
「かかわる力」「学ぶ力」を育てています
周りとかかわり、進んで考えたり試したりする経験が
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に
つながっていきます。

例 ままごと遊び (お店屋さんごっこ)

どんぐりを拾って
すてきなクッキー
を作ったよ

自然との関わりや
豊かな感性と表現など



遊びの広がり

いっしょにやってみよう！
何が楽しいですか？

協同性や社会生活との関わり
言葉による伝え合いなど

聖籠町の幼児教育 未来を創る子どもの育成



幼児教育は 生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な
もので、小学校以降の教育の土台となるものです。

聖籠町では、子ども一人一人の個性や発達、興味・
関心を大切にしながら、家庭と園と地域で連携して
生活する力・かかわる力・学ぶ力 をしっかりと育て
ていきます。

非認知能力

生涯にわたって必要になる
自立心や社会性の基礎となる力

- 例) ・好奇心や意欲をもって取り組む
・あきらめずに最後まで頑張る
・みんなと仲良く協力する

幼児期に
育てたい能力

認知能力

見て聞いて理解する力

- 例) 物の名前、形、
言葉、数などがわかる

相互に影響し合って
総合的に育って
いきます



例 砂遊び

砂ってサラサラ！
ごちそう作れる
かな？

自然との関わりや
思考力の芽生えなど



遊びの広がり

くずれないように
トンネルを作るにはどう
したらいいんだろう？

思考力の芽生えや協同性
言葉による伝え合いなど



家庭と園と地域で子どもを育む聖籠町



幼稚園・こども園

家庭



生活する力
かかわる力
学ぶ力



地域社会

幼児教育リーフレット裏面



聖籠町 幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力



このリーフレットを、目にふれるところにおいてください

幼児期（3歳時～5歳時）

小学校1年生（4・5月）

生活する力

★ 基本的な生活習慣を身につけて、自分のことは自分でやろうとします

草履・片づけ・着替えなど自分でやります



自分から進んであいさつをしたり「ありがとう」「ごめんなさい」を言ったりします



いろいろな運動遊びで毎日 体を動かします



生活の流れや集団のきまりを意識して行動します



ビデオ・テレビ・ゲームなどは時間やルールを守ります



幼児期の終わりにまでに育ってほしい10の姿

自立心

健康な心と体

道徳性・規範意識の芽生え

自分のことは自分でやり、きまりを守って生活します



★ 学校のきまりを守り、日課に合わせて行動します。

★ 身の回りの整理整頓や雑用に応じたあいさつを進んでいきます。

かかわる力

★ 自分の思いや考えを伝え、互いの良さを認め合ったり友達と協力したりします

みんなで力を合わせて楽しく遊びます



言葉で思いや考えを伝え合います



自分たちの力で解決して仲よく遊びます



たくさんの絵本に親しみ、感じたことを言葉で伝えます



自分の役割を考え、みんなで力を合わせます



言葉による伝え合い

協同性

社会生活との関わり

みんなと力を合わせてがんばります



★ 友達や先生に自分の気持ちや言いたいことを伝えます。

★ 友達と協力して一緒に活動します。

学ぶ力

★ 自分の興味・関心をもったことに取り組む、試したり考えたりしながら「わかった」「できた」という達成感を味わいます

興味や関心をもったことに自分から取り組みます



くり返し試したり考えたりします



わからないことは自分で調べてみます



身近な自然にふれて自然の楽しさや不思議さを味わいます



活動を成功させるためにみんなで考え合います



目的に向かっておさめずやりやりとおし達成感を味わいます



心を動かず体験をし、言葉や絵、動きで楽しさや思いを表現します



いろいろな遊びや体験をとおして数量・図形・模様・文字などにふれます



自然との関わり・生命尊重

思考力の芽生え

豊かな感性と表現

数量や図形、模様や文字などへの関心・感覚

学習のしかたを理解し、試したり考えたりします



★ 学習のしかたを知り、進んで学習に取り組みます。

★ 試したり、考えたことを友達と伝え合ったりします。

さまざまな体験を教科の学習に生かします



★ 文字を読んだり書いたり、数を数えたりして理解します。

★ 心が動かされたことを絵や言葉で表現します。

「幼児期の終わりにまでに育ってほしい10の姿」は、遊びを中心とした幼児教育を通して育っていき、小学校入学以降も育ち続けていきます。



②せいろう幼稚園のホームページでALTとの英語活動を毎週発信

○町立せいろう幼稚園でALTと毎週英語活動を行う

- ・ALTに対して、子どもの発達段階に応じた指導について助言を行う。
- ・子どもたちの取り組みの良さや成長を、担任や園長先生に伝える。



◎せいろう幼稚園の特色として、小学校と兼務しているALTとの英語活動について毎週まとめ、ホームページに掲載

- ・ALTが3小学校とせいろう幼稚園を兼務しているため、小学校との連携を意識した指導を行っている。その英語活動の様子を毎週ドキュメンテーションにまとめ、せいろう幼稚園のホームページで発信。
- ・拡大版をせいろう幼稚園の玄関に掲示し、保護者に知らせる。

令和4年度の取組 (3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

ALTとの英語活動の様子を伝える

・せいらう幼稚園のホームページと、園の拡大版の掲示を毎週更新。

楽しく英語に親しもう



せいらう幼稚園では、毎週ALT（外国語指導助手）のアルバート先生と楽しく英語に親しんでいます。その大きな魅力は、

- ①アルバート先生は、蒲野・山倉・亀代小学校でも毎日英語を教えています。せいらう幼稚園では、小学校との接続を考えたプログラムで指導しています。
- ②絵カードやグッズ、ダンスやゲームを毎回効果的に取り入れることで、子どもたちが興味をもって楽しく英語に親しむことができます。
- ③ネイティブな発音と明るく表情豊かな指導で、英語によるコミュニケーション能力の基礎がしっかりと身に付いていきます。

5歳児 天気を表す英語に親しもう！(5月26日)

これまで親しんでいるあいさつやダンスで、楽しくウォーミングアップ！



毎回、その日の天気をみんなで言います。

"How is the weather?"
"It's sunny (rainy, cloudy, snowy)"

この日は、天気を表す英語を絵カードとジェスチャーで復習。



天気のリズムを取り入れた新しい歌とダンスに挑戦！！



楽しそうだなあ！



手をお日様のように開いて
♪"sunny, sunny!"



♪ "rainy, rainy!" は、
雨が降るように踊るんだね！

「英語で言った天気を、絵に描いてみようゲーム！」
アルバート先生が英語で10を数える間に、聞き取った天気を絵に描きます



"How is the weather?"
"It's sunny!"

アルバート先生が、天気のリズムを取り入れた新しい歌とダンスに挑戦！！



"sunny"は、お日さまを書くんだね！

"One, two, three, four, five, six,
seven, eight, nine, ten!"



10数える間に描くぞー！
"snowy"は雪ダルマだな



描いた絵は一つ一つみんなで確認し、
"Fantastic (ファントスティック)!"
と賞賛します。



"Fantastic!"



楽しい～！

◎ 英語の音声と絵を結びつけることにより、目と耳と手などいろいろな感覚を働かせて楽しく覚えることができます。

◎ 英語で10までカウントすることにより、数え方に慣れたり、決められた時間にやりきる達成感を得たりすることができました。



令和4年度の取組 (3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

せいらう幼稚園の幼児教育を保護者に積極的に伝える

せいらう幼稚園の玄関に、園が作成した「園の様子」と、幼児教育アドバイザーが作成した「英語活動の様子」を掲示し、毎週貼り替えて送り迎えの保護者に幼児教育の取組を積極的に紹介しています。



せいらう幼稚園が作成している「園の様子」には、毎回その活動が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」にどのようなつながっているかも明記してあります。



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
「言葉による伝え合い」「協同性」の
一場面です。



令和4年度の取組 (3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

③「広報せいろう」と町のホームページで幼児教育の取り組みを発信

広報せいろう掲載

- ・6月号「生き生きと生活する子どもたち 町立せいろう幼稚園」
「聖籠町幼児教育リーフレットの配布について」
- ・8月号「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、
町立園・私立園・小学校合同研修会の開催」
「3歳児・5歳児の学びと小学校へのつながり」

町のホームページに掲載

- ・6月 「聖籠町幼児教育リーフレット」
- ・7月 せいろう幼稚園ホームページ
「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、
町立園・私立園・小学校合同研修会の開催」

令和4年度の取組 (3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

③「広報せいらう 6月号」

5歳児



「作り方の順番をしっかりと聞こう」

「説明通りに完成させるよ」

「おいしいじゃがいもになあれ」

考えを出し合い、協力する姿
 「学ぶ力」⑧思考力の芽生え
 「かかわる力」④言葉による伝え合い⑤協同性
 「みんなで力を合わせて、大きな山を作りたいな」

- 「崩れないように、水をかけよう」
- 「トンネルをいろいろな方向から掘ってつなげよう」
- 「魚(おもちや)が泳げるように、トンネルに高さをつけよう」



幼児教育センターからのお知らせ

「聖籠町の幼児教育 未来を創る子どもの育成」リーフレット 町立・私立園3～5歳児のご家庭に4月に配布いたしました

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、小学校以降の教育の土台となるものです。聖籠町では、家庭と園と地域で連携して「生活する力」「かかわる力」「学ぶ力」を育てていきたいと思っています。

リーフレットでは、『幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力』の具体的な姿も明示しており、町立・私立各園にも掲示し日々の指導に活かしています。



※リーフレットは、町ホームページ内のトップページ左側の「聖籠町教育委員会」のページ下段の「聖籠町の幼児教育 未来を創る子どもの育成」からご覧いただけます。
 右記 QR コードを読み取ることでもご覧いただけます。



聖籠町教育委員会

生き生きと生活する子どもたち 町立せいらう幼稚園



4月から、新しい子育てシステムに移行し、町立としては唯一のせいらう幼稚園が開園しました。子どもたちは、笑顔いっぱい、生き生きと生活しています。先生方は、子どもたちの発達に応じて、『幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力』を育成していけるように丁寧な指導に取り組み、子どもたちは遊びや生活の中で様々な学びを深めています。

3歳児



「どの道を通るといいかな」

思いっさり体を動かして遊ぶ姿
 「生活する力」②健康な心と体



「あのね、あのね」

「先生と一緒に砂のケーキを作ったよ」

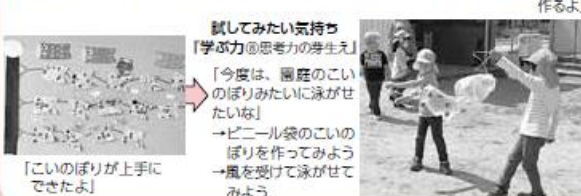
4歳児



「準備も自分たちでできるよ」

「先生の説明をよく聞こう」

「心を込めてプレゼントを作るよ」



「こいのぼりが上手にできたよ」

試してみたい気持ち
 「学ぶ力」⑧思考力の芽生え
 「今度は、園庭のこいのぼりに泳がせたいな」
 → ビニール袋のこいのぼりを作ってみよう
 → 風を飛ばして泳がせてみよう

聖籠町「幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力」

生活する力	①自立心
	②健康な心と体
	③道徳性・規範意識の芽生え
	④言葉による伝え合い
かかわる力	⑤協同性
	⑥社会生活との関わり
	⑦自然との関わり・生命尊重
学ぶ力	⑧思考力の芽生え
	⑨豊かな感性と表現
	⑩数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は、遊びや生活を通して育っていきます。



令和4年度の取組 (3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

③「広報せいらう 8月号」

③グループで話し合われたことを発表し合い、意見を共有



④新潟大学の中島教授から、「子どもたちの学び」と「幼小接続の大切さ」について御指導



3歳児・5歳児の学びと小学校へのつながり (協議内容より)

3歳児 砂遊びに見られた主な「10の姿」 (一部抜粋)



- 自然との関わり
砂や水の特性や感触に親しむ。
- 思考力の芽生え
砂に混ぜる水の量や道具を変えて試す。
- 豊かな感性と表現
泥だんごに水を掛けて崩れる様子を「アイス!」
- 道徳性の芽生え
使った道具を洗い、仕分けをして片付ける。

5歳児 砂遊びに見られた主な「10の姿」 (一部抜粋)



- 思考力の芽生え
水が浸み込まずに流れる方法を考え繰り返し試す。
- 自然との関わり
砂や水の特性を活かす。
- 言葉による伝え合い
アイデアを出し合う。
- 自立心
水が流れるまであきらめない。
- 協同性
協力してつくりあげる。

小学校へのつながり



- ・小さな困難があっても最後までやり遂げる力。
- ・なぜ、どうしてと考える力。
- ・友達と協力してグループ活動や仕事を行う。
- ・生活科や理科の自然の仕組みへの関心。
- ・自分の気持ちや考えを表現する力。

園での遊びは、たくさんの学びと経験の場です。そして、小学校の学びや生活につながっています。せいらう幼稚園では、さらに10月13日(木)に4歳児についての「研究保育協議会」を開催します。

幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて 町立せいらう幼稚園・私立認定こども園・小学校 合同「研究保育協議会」を開催しました



町立せいらう幼稚園では、教育目標「豊かな心を持ち、いきいきと遊ぶ子ども」の育成をめざして、「学び力やかかわる力」を高める保育に取り組んでいます。

今年度これまで、せいらう幼稚園では指導力の向上と小学校への円滑な接続に向けて、初めて小学校教諭も交えた「町立せいらう幼稚園・私立認定こども園・小学校合同研究保育協議会」を開催しました。指導者には、幼児教育を専門とする新潟大学教職大学院の中島伸子教授をお招きしました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

6月7日「5歳児研究保育協議会」

協議題

- ◎せいらう幼稚園5歳児の砂遊びから「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が見られるところ」「小学校へのつながり」



6月30日「3歳児研究保育協議会」

協議題

- ◎せいらう幼稚園3歳児の砂遊びから「何を学んでいるか」「教師が大事にしていること」「10の姿とのつながり」



自立心
健康な心と体
道徳性・規範意識の芽生え
言葉による伝え合い
協同性
社会生活との関わり
自然との関わり・生命尊重
思考力の芽生え
豊かな感性と表現
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

①せいらう幼稚園での砂遊びの動画をもちに、教師の援助と子どもたちの様子を説明



②遊びの姿から、「学び」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」、「小学校へのつながり」を話し合い



①せいらう幼稚園の砂遊び・ごっこ遊びについて、研究保育協議会の実践をもとに「実践集録」を作成し、町立・私立園教諭，小学校に配布

○「砂遊び」「ごっこ遊び」についての実践集録

(内容)

- ①学年の発達段階をとらえた指導計画
- ②短期指導計画・日案
- ③遊びの様子
- ④研究保育協議会で話し合われたこと
 - ・子どもの学び
 - ・教師が大事にしていること
 - ・遊びにみられる「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」
 - ・小学校へのつながり



沖縄県金武町幼児教育センターからの視察

沖縄県金武町の幼児教育センターから4名が、7月14日に聖籠町幼児教育センター及び聖籠町内園の視察に訪れました。

金武町と聖籠町の幼児教育センターでの取り組みについて紹介し合い、意見交換を行うとともに、せいらう幼稚園の教育の紹介と保育参観も行いました。

9:15～12:20

- ・町立せいらう幼稚園での保育参観
- ・私立認定こども園巡視
- ・町立せいらう幼稚園の教育について紹介
質疑、意見交換

13:30～16:00

- ・金武町「学びの基礎力育成支援事業」取組の紹介
- ・聖籠町「幼児教育推進事業」取組の紹介
- ・質疑、意見交換



沖縄県金武町幼児教育センターからの視察

町立せいらう幼稚園での保育参観

3歳児「ALTとの英語活動」



5歳児「お誕生会」



4歳児「プール遊び」



沖縄県金武町幼児教育センターとの情報交換

沖縄県金武町と聖籠町の、幼児教育センターとしての役割や活動内容についてお互いに紹介し、意見交換を行いました。金武町とは面積や人口が似ており、特に金武町の「学びの基礎力育成支援事業」として幼児教育・義務教育を通じた支援の在り方など、幼小接続を考える上でも参考になりました。

遠く離れた地で幼児教育の推進に力を注ぐセンターと直接つながりをもてたことも、大きな喜びでした。



せいらう幼稚園での説明



聖籠町役場での情報交換



令和4年度の成果と課題

(1) 幼児教育の質と指導力の向上について

成果：

- 新しい体制の中で、指導力向上に向けて園教諭が積極的に研修に参加し、振り返りカードにはしっかりと学びや今後のめあてが記されていた。
- 今年度初めて、小学校との合同研究保育協議会を3回開催したが、毎回、校長・教頭・教務主任・特別支援担当・1年生担任など、いろいろな立場から園児の学びや育ちを見てもらうことができた。今後も、町立・私立園、さらに小学校合同の研修を設定し、意識を高めていく。

課題：

- 園訪問では、特に私立園では派遣職員の新しい体制の中での指導や適応等への相談対応が多かった。来年度は、保育への指導・助言を充実させる。
- 私立園は保育時間が長く、研修に出にくい面もあるので、無理なく参加できる町立・私立園合同のオンライン研修も取り入れていく。

令和4年度の成果と課題

(2) 複数園と小学校の円滑な連携・接続方法の構築について

成果：

- 複数園と小学校との連携初年度として、園・小の授業参観・保育参観、合同情報交換会の実施、入学説明会と体験入学の町内同日開催など、新しいシステムの構築に努めた。成果を検証して来年度に活かす。
- 小学校との合同研修では「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を視点に話し合うことで、お互いの教育や学びのつながりを理解することができた。
- 町の幼児教育リーフレットの「幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力」をもとにした保育参観シートを活用することで、共通の視点から育ちを見てもらうことができた。

課題：

- 園での学びや育ちは、小学校は研修に参加しないとなかなか理解できない。また、スタートカリキュラムの作成者と、新一年生の担任は違うことから、卒園時の子どもたちの学びや育ちをしっかりと把握して新一年生の指導にあたれるように、4月3日の町教職員全員研修に幼児教育も入れる。

(3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信について

成果：

- 幼児教育リーフレット配布にあたっては、作成の意図と活用をお願いの便りを付けて、開園時に3～5歳児の全保護者に配布した。また、広報せいろうやホームページでも紹介し周知を図るとともに、町内全園に掲示することで目指す姿が共通理解された。
- 毎週英語活動に楽しく取り組む様子をホームページと、玄関前の掲示で伝えているが、保護者から「子どもに尋ねたら、ちゃんと英語で返してくれて感心しました」という声があり、親子のコミュニケーションの一つにつながった。

課題：

- 幼児教育リーフレットの表面は、写っている子どもの学年が上がっていくので差し替えと、さらに内容の補足をしていきたい。また、継続して園でもリーフレットの「育てたい力」を活用して、成長を伝えてもらう。

(4) せいろう幼稚園の遊びの「実践集録」作成について

成果：

- せいろう幼稚園で園内研修として作成してきた「砂遊び」「ごっこ遊び」の指導計画は、他園でもとても参考になるものであり、冊子にして町内各園の教諭に配布することにより、今後の指導に十分活かせる。
- 研究保育協議会で話し合われた内容や、新潟大学の中島教授の貴重なご指導を紙面に残すことで、参加できなかった教師も学びを共有することができる。

課題：

- せいろう幼稚園や聖籠町の幼児教育の取組を広く伝え、冊子が無効活用されるように、実践集録の発行について広報せいらうで知らせ、ホームページに指導計画等一部アップする。

(5) 幼児教育アドバイザーの質の向上について

成果：

- 連絡協議会では、計画についての的確かつ具体的なご指導をいただき、実践に活かすことができた。
例えば、幼児教育リーフレットを幼小の理解と接続に活用すべきというご意見を受けて、保育参観の際に「保育参観シート」を作成し、同じ視点で学びや育ちを見取ってもらうことができた。
- 今年度、県の幼児教育センターが開設し、研修の進め方など参考となる情報を得ることができた。今後も、よりよい運営に向けて連携させていただきたい。

課題：

- 狭い町だからこそできることもあるが、県や他市町村の動向を知り、広い視野で町の幼児教育を推進していけるよう、研鑽に努めていきたい。

◎現場のニーズに応じた訪問指導と研修を充実させていく。

①町立幼稚園には毎週1～2回、私立認定こども園には各園月1～2回訪問

- ・日常の保育について指導・助言を充実させる。
(ビデオ研修、ドキュメンテーションでの振り返り)
- ・園教諭の困り感への対応も行う。

②指導者を招聘した研修会を5回開催する。

- ・研修会后、振り返りとまとめの作成を行う。
- ・「3歳児・4歳児実践研修会」を開催し、町立園・私立園の実践を発表し合い、同じ学年の担任との情報共有やつながりを深める。(新規)
- ・「町立園・私立園オンライン研修」を開催し、幼児教育アドバイザーを助言者に、テーマを設けてオンラインで協議。(新規)

令和5年度の計画 町立園・私立園・小学校合同研修予定①

町立園・私立園・小学校合同 新一年生授業参観 (3小学校で開催)	○園教諭が新一年生の授業を、「<u>アプローチカリキュラムがスタートカリキュラムにどのように活かされているか</u>」を視点に参観する。振り返りを、今後のアプローチ・スタートカリキュラムの作成と実践に活かす。 ・令和5年4月中～下旬
町立園・私立園合同 園長・副園長・ミドルリーダー研修(1回) 講師：	○町立園・私立園管理職を対象に、園経営と人材育成についての研修。 ・令和5年5月下旬
町立園・私立園・小学校合同 5歳児研究保育協議会 (1回) 指導者：新潟大学 教授 中島伸子様	○町立せいらう幼稚園で研究保育を行い、町立園・私立園・小学校教諭による協議会と大学教授による指導。 ・令和5年 6月中旬 5歳児研究保育

町立園・私立園合同 3・4歳児実践研修会 (2回) 指導者：新潟大学 教授 中島伸子様	○町立園・私立園での実践を発表し合い、同学年で情報共有するとともに、発達段階に合ったより良い指導法を学ぶ。(新規) ※学年ごとにそれぞれの園での様子を情報交換し、その時期にどんなことが大事なのかを話し合う機会がほしいという要望から企画 ・令和5年 7月上旬 3歳児研修 ・令和5年10月上旬 4歳児研修
町立園・私立園合同 全教諭対象 指導力向上研修 (1回) 講師：新潟大学 教授 中島伸子様	○町立園・私立園全教諭を対象に、大学教授による指導力向上研修。 ・令和5年8月下旬
町立園・私立園合同 実践力向上 オンライン研修 (年数回)	○テーマを設定し、参加者で協議し合い、日々の保育や生活指導に活かす。(新規) ・令和5年4月～令和6年2月

◎**幼小の教育のつながりの理解と接続を進める。**

①4月3日(月)の町教職員全員研修で、幼児教育や5歳児の学び・育ちについて伝達講習する。

・小学校が、園での学びや育ちをきちんと把握し、スタートカリキュラムを適切に実施するために、4月初めに町立幼稚園長より5歳児の卒園間近の映像をもとに、園での学びや育ちを伝達講習する。**(新規)**

②関係者協議会を、5月、7月、9月、11月、2月、3月に開催予定。

③園と小学校で、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの確実な作成と内容検討を行う。

④お互いの教育の理解を深める授業参観・保育参観、合同情報交換会の継続。

⑤個々の子どものよさやがんばりを、小学校低学年で継続して伸ばしていける「育ちをつなぎ伸ばす個人カルテ(仮称)」作成の検討・開発**(新規)**

◎町や園の幼児教育充実に向けた取り組みを伝える

- ①せいろう幼稚園の「実践集録」発行について、広報せいろうで紹介し、ホームページに「砂場遊び」「ごっこ遊び」の指導計画を掲載する。(新規)
- ②せいろう幼稚園の英語活動の様子を、毎週まとめ、ホームページにアップし、玄関前にも拡大版を掲示し、子どもたちの生き生きした様子を伝える。
- ③幼児教育リーフレットの写真の差し替えと、内容の補足・修正、活用の手引きを作成する。(新規)
園でも継続して、リーフレットの「育てたい力」もとにして成長を伝えていく。
- ④新しい子育てシステム2年目として、町立園・私立園・小学校との研修の様子や、子どもたちの活躍の様子を広報せいろうを通して伝える。

聖籠町の「未来を創る子どもたち」のために、
町立園・私立園・小学校と幼児教育センターが
しっかりと連携しながら、子どもたちの健やかな成
長を支えていきたいと思ひます！

